

日程 平成 29 年 11 月 3 日～11 月 4 日

（奥秩父）瑞牆山・金峰山

撮影者 田口

11/3 蕨崎駅＝瑞牆山 BS－富士見平小屋（テント場）－瑞牆山－富士見平小屋(テント泊)



001 紅葉の森

蕨崎駅からタクシーで瑞牆山荘 BS へ。秋晴れのもと、落葉が始まった森の道を富士見平小屋へ。里宮坂の急坂をひと登りすると、瑞牆山のバロック的な姿が現れた。

002 唐松林のテント場

1 時間ほどで富士見平小屋テント場に到着。100 張のテントが張れるという唐松林の明るいテント場だ。ザックをテントにデポし、サブザックで巨大な奇岩が天に向かって突き立つ瑞牆山を目指して出発する。



003 花崗岩の岩稜

天鳥川を越えると本格的な登りが始まる。樹林帯の中の急坂を越えていく。青空に白樺が映える。所どころ、一歩一歩かなりのストレッチを強いられるタフな登山道だ。

004 天に屹立する奇岩

シャクナゲが混じる針葉樹林帯の道を登りつめていく。やがて巨大な「ヤスリ岩」が現れる。黒森コースとの分岐から、北側から回り込むようにして瑞牆山の山頂に。



005 鋸岩での絶景

巨大な花崗岩が横たわる標高 2,230m の山頂には多くのハイカーが密集。眼下には紅葉に染まった山地が広がる。晴れ渡った秋空のもと、富士山、南アルプス、八ヶ岳、金峰山と、まさに 360 度の素晴らしい眺望を堪能できた。





006 苔と岩、針葉樹林帯

標高 1,810m の富士見平小屋テント場を後に金峰山を目指して出発。曇天だが、予報とは異なり、運よく風が弱い。奥秩父らしく苔むした樹林帯を進む。

007 大日岩

飯盛山と鷹見岩の鞍部から大日小屋を通り、シャクナゲとトウヒ、シラビソ、コメツガなどの針葉樹が密生する急坂を登ると巨大な花崗岩が積み重なる大日岩に着く。

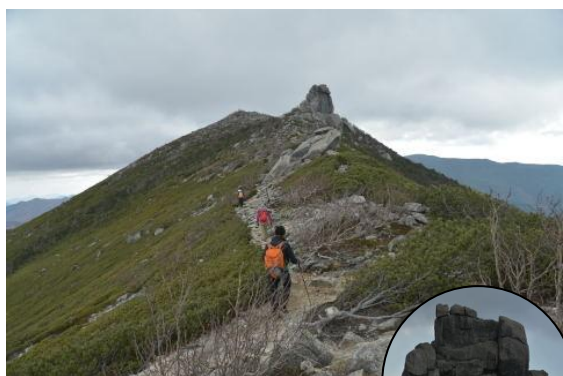


008 千代ノ吹上

時に氷結したところもある樹林帯を登りつめると、明るく開けた「砂払ノ頭」に出る。彼方の五丈岩を仰ぎつつ、断崖絶壁の岩稜が連続、雄大で荒々しい岩山、「千代ノ吹上」へと高度を上げていく。

009 五丈岩への道

山梨県側がスパッと深く切れ落ちた「千代ノ吹上」から岩稜帯の小ピークをいくつか越えると、いつの間にか、森林限界を抜けてハイマツ帯に。花崗岩の岩がゴロゴロした道を進むと、五丈岩の雄姿が次第に迫ってくる。



010 山頂から金峰山小屋へ

曇天ではあったが、標高 2,599m の金峰山山頂からは比較的近い瑞牆山、小川山、甲武信ヶ岳など奥秩父の山々が眺められる。帰路は金峰山小屋からの巻き道を取り、千代ノ吹上、大日岩経由で富士見平小屋への長い道のりをゆっくり下る。次第に気温が下がり、天候は荒れ模様に変わったが、雄大な眺望、凄絶な断崖、深い原生林と、バラエティーに富んだ山岳の風景を楽しむことができた。

